

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 19 号

目 次

論説

- ベトナム南部カンザー地区におけるマングローブ植林事業の
展開と住民生活 安食 和宏 (1 ~ 12)
- カリマンタン首狩と国家：民族対立抗争の政治人類学 石井 眞夫 (13 ~ 29)
- 瀬戸内過疎地域の高齢者生活と他出家族
— 広島県過疎山村の調査事例より — 石阪 督規 (31 ~ 44)
- クルト・ヴォルフ出版社と表現主義 宇京 早苗 (45 ~ 62)
- 初期新高ドイツ語・日本語小辞典作成における問題点
— 見出し語の選択について — (独文) 工藤 康弘 (63 ~ 70)
- 楽園の侵入者：Oscar Wilde の戯曲と童話に見られる「庭」の
イメージ 坂本つや子 (71 ~ 87)
- 大清律輯註考釈 (四) 谷井 俊仁 (89 ~ 102)
- ブレヒトの『イングランドのエドワード2世の生涯』について 友永輝比古 (103 ~ 111)
- 留学生日本語学習支援ボランティアグループ「てらこや」の
活動と意義 早矢仕彩子 (113 ~ 125)
- 《訳語類解》に注記された漢語の同義・類義語について
— 司訳院類解辞書中の漢語について (その1) — 福田 和展 (127 ~ 142)
- 馬遠筆「月下把杯図」(天津市芸術博物館蔵)をめぐって
— 高士山水図の図様形成に関する一考察 — 藤田 伸也 (143 ~ 158)
- 発話行為論序説：身体システム論に依拠して 村上 直樹 (159 ~ 173)
- ドイツにおける青年文化的表出様式 (独文) ブリギッテ・メーヴァルト (175 ~ 189)
- 梅川文男研究 (2)
— プロレタリア詩人、堀坂山行の淡路時代 — 尾西 康充 (一 ~ 四)
- 愛と野望の半世紀 — ある女の自立の歴史 — 武笠 俊一・小川 葉子 (五 ~ 四)
- 鍾山のある情景 — 王安石詩考 — 湯浅 陽子 (五 ~ 六)

展望

- 「生きもの」からみるモンスーンアジアの人間—環境関係
— ベトナムのフィールドワークからの地理学的展望 — 野中 健一・池口 明子 (191 ~ 216)

研究ノート

- レッシングの文学・芸術論 (その五) 太田 伸広 (217 ~ 239)
- 日本語名称なし地図課題対話コーパスの概要と転記テキストの
作成：報告 吉田 悦子 (241 ~ 249)

三重大学人文学部

2 0 0 2